

POINT

한 일 젊은 작가 비평가 교류 전시회
Korea-Japan exchanging artists and critics exhibition
日韓若手アーティスト・批評家交流展覧会

POINT-日韓若手アーティスト・批評家交流展覧会

会期：2010年1月9日(土)~24日(日) 10:00-20:00 会期中無休・入場無料

会場：京都芸術センター 講堂 (TEL:075-213-1000)

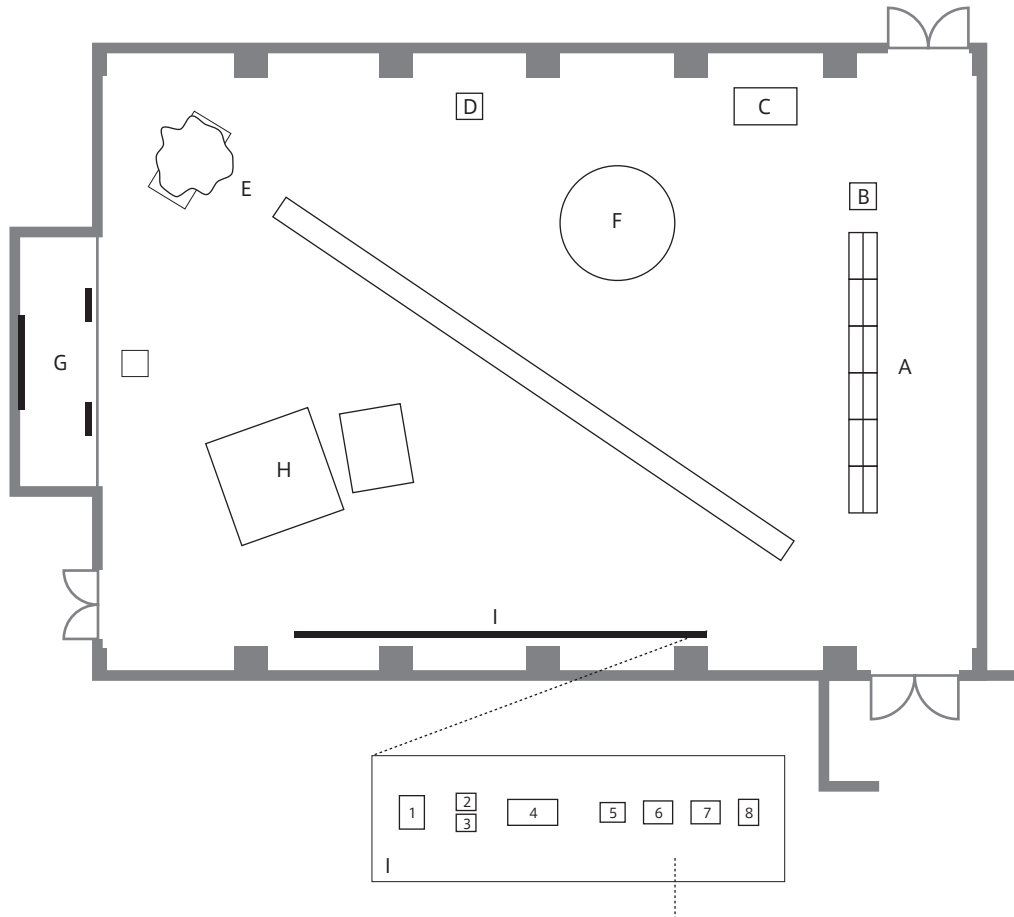
展示作家：アン・カンヒョン、アン・ドウジン、ムン・ソンシク、橋本聡、藤井光、松原慈

主催：国立現代美術館 チェンドンスタジオ、Alternative Space LOOP / 共催：京都芸術センター

助成：ソウル文化財団、CJ文化財団、韓国文化芸術委員会 / 協力：Hwaum Chamber Orchestra, Hwaum 畫音Project、hanarerad

お問い合わせ：loop@galleryloop.com (英語), 080-5644-0066 (日本語)

<http://point2009.blogspot.com>



松原慈 MATSUBARA Megumi

A. OBJECTS IN MIRROR ARE CLOSER THAN THEY APPEAR, 2010

B. A WHITE LINE, 3min37sec, 2009

橋本聡 HASHIMOTO Satoshi

C. 剥ぐ / strip, 2010

D. ライティング / lighting, 2010

E. 投石 / throw a stone, 2010

アン・ドウジン AHN Doojin

F. Just Cave - Kyoto, 2010

アン・カンヒョン AHN Kanghyun

G. A World of Order and Disorder: Libido, Presented by a Woman in a Llama Mask, 14min56sec, 2009

藤井光 FUJII Hikaru

H. public dialogue, 3minutes, 2010

ムン・ソンシク MOON Sungsik

1. House of a window, 2003

2. One fine spring day, 2002

3. Hunt, 2007

4. Stars, scops owl and my grandmother, 2002

5. Looking for the Christmas tree, 2007

6. A Cockoo of June, 2002

7. Brother and me, 2007

8. Rainy day, 2003

※絵画作品F、Iにはお手を触れませんよう、お願いいたします。また、作品Hの台上にはあがりませんよう、お願いいたします。

松原 慈 MATSUBARA Megumi | b.1977

12月に行ったラゴス(ナイジェリア)で経験したことをもとに作られたインスタレーション。行くことを想定していなかったときに作った「想像のラゴス」のアルバムにみられるように、異なる時間軸が重ね合わされている。意図していなかったこと、偶然起きたことが影響を与えていくプロセスに関心を持っている。

橋本 聡 HASHIMOTO Satoshi | b.1977

ある行為によって発生する出来事が、その空間を流動化させたり、緊張を生み出す作品をつくっている。その際に秘密めいた不可解さがつきまとう。今までの作品では作家本人が会場に居る場合が多いが、今回は観客に指示を与え、なんらかの行為をうながす。

アン・ドゥジン AHN Doojin | b.1975

神話や伝説といった神秘的な物語を成立させる構造に興味を持っており、そのような構造図を効率的に見せるために、インスタレーションやドローイング作品として提示している。今回の展示作品は、文化や文明といった歴史が洞窟の中で始まったことを表現したペインティングのインスタレーション。

アン・カンヒョン AHN Kanghyun | b.1978

海外のいくつかの都市に滞在した経験を通し、それぞれの土地の伝統的な装束や舞踊などをリサーチしながら、地域のコミュニティに残る言い伝えや昔話などを作品にしてきた。近年は居住地が固定化したことをきっかけに、個人の内面性と社会の繋がりを扱うような作品に変わりつつある。

藤井 光 FUJII Hikaru | b.1976

市民活動を実践しながら、その中にアートの可能性を取り入れている。今回は路上で起きたことの記録を展示している。市民活動に対する警察の不当な対応に抗議する様子が、メガフォンの音とモニターの映像によって再現されている。

ムン・ソンシク MOON Sungsik | b.1980

作家自身の個人史を題材に、記憶をたどり作品を描いている。出品作は、幼かった頃の記憶や出来事、中でも特に印象深かった家族や周りの人々との思い出を鉛筆素描で描いたもの。他に、都市と自然の崩壊をテーマにしたペインティング作品も描いている。

写真撮影に関する注意事項

POINT展では、次の条件の範囲内で作品の写真撮影が可能です。

他の鑑賞者の鑑賞を妨げない。／フラッシュは使わない。／三脚は使わない。／動画の撮影はしない。

<撮影された写真の利用に関して>

撮影された作品写真は、非営利目的の利用でお使いいただけます。営利目的には利用できませんのでご注意ください。撮影された作品写真に変更を加えることはできません。撮影された写真の使用条件はクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの「表示-非営利-改変禁止 2.1 日本」下で許諾されています。ブログや写真共有サービスなどに利用する場合は、展示作品作家名と共にPOINT展URL (<http://point2009.blogspot.com/>) を表示願います。



※撮影された作品写真に来館者が写っている場合、その写真の公表にあたって写り込んだ方の肖像権に触れる場合がありますので、ご注意ください。